

福岡和白病院で悪性疾患疑いに対して 体腔液の細胞診検査を受けられた患者様へ

当院検査科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。

また、この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	当院のがん診療におけるセルブロック法の有用性の検討
当院の研究責任者（所属）	越智 早也佳（検査科）
本研究の目的	体腔液の細胞診診断と、体腔液検体で作製されたセルブロック検体の組織診断とを比較し、セルブロック法の有用性を検討することを目的とします。
調査データ該当期間	西暦2017年4月1日～西暦2022年3月31日
研究方法	<p>●調査の対象となる患者様● 上記期間に当院で体腔液（胸水、腹水、心嚢水）の細胞診検査を受けられた患者様</p>
	<p>●使用するカルテ情報● ① 年齢・性別 ② 細胞診診断 ③ 病理組織診断（セルブロック検体における） ④ セルブロック検体でのコンパニオン診断・遺伝子検査の提出の有無等</p>
	<p>●試料や情報の管理● 本研究に用いる試料はありません。 情報は、研究代表者が適切に保管・管理します。</p>
個人情報の取り扱い	研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。
<p>本研究の資金源・ 利益相反[※]について</p> <p>※外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。</p>	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合わせ先

福岡和白病院 検査科
電話：092-608-0001（代表）
研究責任者：越智 早也佳